

第 125 回シンポジウム

「カーボンニュートラルに向けたアルミニウム溶解工程の効率化」

サステナブルな社会を目指す動きは近年さらに加速し、カーボンニュートラル・脱炭素などの課題は、軽金属に係る業界にとって非常に重要な課題となっています。特に、その生まれから高いカーボンフットプリントを持つアルミニウムおよびアルミニウム合金製品においては、その低減は極めて重要です。このシンポジウムは、サプライチェーンの CO2 排出量のうちの Scope1、すなわち、自社内の燃料の燃焼により排出する CO2 の削減について、特に溶解工程の効率化を主体に検討することを目的としています。そのため、当シンポジウムは、特に炉メーカーや溶解設備メーカーからの講演を中心に構成し、一部、Scope2(電力会社等から供給される電気・熱などを創る時の排出)に関する講演も準備しました。今回のシンポジウムは、より生産技術的な内容になっており、軽圧メーカーの方はもちろんのこと中小の鋳物・ダイカストメーカーの溶解関係者も対象としています。是非とも、関係する技術者や開発者の交流の場として、また、来るべきサステナブル社会へのヒントを得る場としてご活用ください。

主催：一般社団法人軽金属学会

後援：公益財団法人軽金属奨学会

協賛：日本アルミニウム協会、日本マグネシウム協会、日本チタン協会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、日本材料学会、日本機械学会、日本塑性加工学会、日本鍛造協会、日本鋳造工学会、日本顕微鏡学会、軽金属製品協会、軽金属溶接協会、資源・素材学会、自動車技術会、日本ダイカスト協会、溶接学会、粉体粉末冶金協会、日本航空宇宙学会、日本複合材料学会、日本工業炉協会（依頼中）

日時：2022年12月21日(水)10:00～16:30

会場：Webex ミーティングによるオンライン開催

定員：100名

参加費：正会員 10,000 円 維持・協賛学協会員 15,000 円 学生・協賛学協会学生会員 1,000 円 非会員 20,000 円 学生非会員 6,000 円

※参加費の振込方法(銀行振込または郵便振替、請求書発行の要不要)は申込画面で指定してください

※振込先の詳細は参加申込受付メールでご案内します

参加申込締切：2022年12月14日(水) 参加者には事前にテキストを送付し、オンライン開催の詳細をご連絡します

申込先：軽金属学会ホームページ：<http://www.jilm.or.jp/>よりお申込下さい。

問合先：一般社団法人軽金属学会(〒104-0061 東京都中央区銀座 4-2-15 塚本素山ビル 6 階 Tel:03-3538-0232 Fax:03-3538-0226)

プログラム：

(敬称略)

10:00～10:05	開会の挨拶	企画委員会
10:05～10:55	1. アルミニウム業界が目指すカーボンニュートラルへの道筋 日本アルミニウム協会がこれまで取り組んできた温暖化対策に加え、2020年10月に政府が示した「2050年カーボンニュートラル」を受けて2022年1月に策定した「アルミニウム圧延業界の2050年カーボンニュートラルに向けたビジョン」について紹介する	一般社団法人 日本アルミニウム協会 理事 加納 幸彦
10:55～11:05	休憩	
11:05～11:55	2. カーボンニュートラルに向けた変革 溶解工程におけるカーボンニュートラルの実現を目的とした、既存技術による溶解炉のエネルギー削減と未来のカーボンニュートラル技術の展望	ロザイ工業株式会社 工業炉第二部 課長代理 舟瀬 健治
11:55～13:00	昼食休憩	
13:00～13:50	3. カーボンニュートラルへの取り組み 省エネ技術の説明と事例紹介、電化と省電力化の事例、およびアルミ溶解炉への水素バーナ運用/炉性能、溶湯品質の結果などを解説する	株式会社宮本工業所 工業炉技術部 主幹 松井 仁嗣
13:50～14:00	休憩	
14:00～14:50	4. アルミニウム小型連続溶解炉の効率化 オール電化のアルミ溶解保持炉とハイブリッド溶解保持炉のプレゼンテーション	三建産業株式会社 営業本部 東京支社 馬壁 亮
14:50～15:00	休憩	
15:00～15:50	5. アンモニアを燃料とする発電技術によるカーボンニュートラル化の取り組み 水素やアンモニアを燃料とした電力のカーボンニュートラル化に向けた、技術実証の状況と燃焼技術だけではなくサプライチェーン構築・燃料グリーン化へ向けた課題を示す	株式会社 IHI 技術開発本部 技監 藤森 俊郎
15:50～16:00	休憩	
16:00～16:20	全体の質疑応答	全員
16:20～16:30	閉会の挨拶	企画委員会

(世話人：日本軽金属株式会社 鈴木雄詞，株式会社 TYK 大島智子，ヤマハモーターエレクトロニクス株式会社 橋内 透)